

---

# 生きてました

カツオ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

生きてました

### 【Nコード】

N0954A

### 【作者名】

カツオ

### 【あらすじ】

桜田さんがゲーセンで豚の鼻の熊を取ったらその人形たちが生きてました。

## 人形との出会い

「皆さん、人形には心があります！」

くそ古いテレビに詐欺してそうなおじさんが言ってた。

オレはこんなことねーなと思って、テレビを消した。

ほら人形って髪が伸びる日本人形とかあるじゃん。だから心があるんだって！

はい。信じてません。信じる気にもなりません。

ある日、ちと金使おうかと思つてゲーセンのUFOキャッチャーをやりました。

しかも人形がきもい！豚の鼻をした熊です。

なんか取りなくなかったけどほとんど高校生に占拠されて使えませんでした。

最近の高校生は怖いよ。普通に人をリンチするから。

それでアーム（取るのアームって言ふの）を操作してたらなんかそれジャンプしてましたうわあ怖いよ。

そいつアームに掴めたら泣いて万歳して落ちました。

なんかもう一度見たくなったのもう一回100円を入れました。

はい。ジャンプしてます。掴めました。たくさん豚の鼻をした熊が掴んです。ゾンビみたいです。

あわせて29体とれました。いりません。売ったら50円でした。

いや半額やん。ゲーセンも50円にしろよ。

なんか利益あるのか分からないので全部持つて帰りました。置き場に困りました。どうしましょう。

全部押入に入れました。

次の日、押入がすごく揺れてます。ビビりました。

押入、壊れました。

オレが押入の方に来てみたら、豚の鼻をした熊、29体が立ってました。

「やつと出れたあゝ！29体もあんな狭い押入に入れられたら壊さずにいられねえ！」

喋りました。人形が。全部がオレに指さしています。

「それより、オレら取ってくれてあんがと」

なんか人形に感謝されました。

人形が言いました。

「名前は？」

「桜田、ですけど」

くそお！人形に敬語使ってしまった。

「年齢は？」

「21ですけど」

なんか人形、オレのたばこ取って吸ってます。

たばこ20本入りで、オレが5本吸って、残り15本だから、吸えない14体泣いてます。

人形が言いました。

「おい！なんで20本しか入ってないんだよ！てめえ！」

いや、たばこを作ってる皆さんに言ってください。

てゆーか、人形たち、たばこ食ってます。

吸わないで食うんですね。たばこ。

この人形、大好物なんですね。たばこ。

「てめえ、ぼこす！」

とか言われて人形に殴られました。  
もってんてこまいですね。

人形。てか痛くないです。人形だから。あつても針が出た人形のパンチは最高に痛かった。なんか人形たち。その人形を尊敬しながら、

「パンチ最高じゃん！」

って言いました。

いや武器持つてるし、それよりまず、ちゃんと作れよ。人形を作る皆さん。

「じゃ、事情聴取の続きをする」

ははは、人形に事情聴取されてます。オレ。しかも人形ですよ。また針が出た人形に30回ぐらい殴られました。訳分からんぐらい痛いです。

とりあえず仕事に行きました。

てかオレ、30も穴開いてるから仕事行くなよ。

即穴について聞かれました。

オレがふと窓に目をやると、人形が窓に引っ付いてました。キモ。

「桜田！てめえライブドアに働いてるのかよ！ホリエモンに会わせてくれ！」

すんません。いますごい大変なんで、無理です。

なんか人形たち、堀江コールやってます。

出ません。

しかもミュージシャンじゃないからコールしても出ません。すんません。堀江さん。

社員の皆さんが針が出た人形に殴られました。

オレはもう泣いてます。

ははは。もうすぐで係長だったのに解雇されました。

針が出た人形に肩叩かれました。

痛いです。肩から血が出てます。てか人から見ると、オレ、気味悪いですね。人形29体いるし。

「ふざけんな！おまえ等のせいでクビになったんだ！ゲーセンに帰れ！くそ人形！」

いません。

なんか本当に消えたのかと思って探してたら目の前のコンビニにいました。

ウキウキと買い物してました。7万払わされました。

ははは。だから誰も取らないのか。

こいつら、テレビに突きだそう。

人形って生きてるんですね。

## 名前決定（前書き）

これ、自分では自信作で必死に作っています。皆様、評価お願いします

## 名前決定

人形との生活が始まって2日経ちました。  
オレの体に60力所ぐらい穴があります。

たまに仲間割れしてオレの高い時計を武器にしたりします。  
金がありません。

助けてください。

たまにリンチします。仲間おしで。

なんか知らないけど100体くらい人形がいたりします。  
最初はさすがにビビりました。

次第に慣れる自分が怖いです。

助けてください！

時々自分も無理矢理混ぜられて鬼ごっこもします。捕まったら  
殴られます。

まあそれでも楽しいときは楽しいですね。  
きれいに飾ってますが本当はうざいです。

次の日、

「俺たちに名前をつけてくれ！」

と土下座されました。

人形に名前なんま必要ないと思うのはオレだけでしょうか。

とりあえず名前をなんにするか考えました。

全員ジャニーズのメンバーの名前にしようと考えました。

みんな亀梨和也がいいそうです。ごくせんパワー。

次はポケモンにしようかと思ったが、オレたちみたいなポケモン  
はいないと殴られました。

どこにもいないと思うのはオレだけでしょうか。



何回も考えて、何回も殴られたどり着いたのは、人形1から人形29になりました。

案外しょぼいですね。って言ったらキックされました。

次の日、仲間割れの戦争がされました。

部屋の中に戦闘機がたくさん飛んでいます。銃連射してます。怖いです。

なんか爆弾を準備してるので戦闘機壊しました。

うわあ。戦闘機壊したの初めてだなあ。ふふふ。

次の日、オレは今思えば綿をさせば喋れないと思いました。

夜、みんなが寝てるときに人形13を刺しました。

綿、リアルな赤でした。きもいっす！

朝、13が泣いてました。すぐオレが犯人だとばれました。

なんか人間と同じぐらいの体になって、オレをばこしました。

その後、ベランダを乗り越えてどっかにいきました。

オレは普通にほっときました。

翌朝、賞味期限が今日の牛乳ときゅうりの対処にこまっていたらたくさん電話が来ました。

あの人形、東京23区と埼玉と栃木にそれぞれ1体ずつ保護されてました。今から引き取りにいきます。

ああ、千葉だったらデイズニールランドに行けたのにな。

まあいいや、ついでに観光でも行こうかなと思います。

まずは世田谷です。

なかなか空気がきれいでした。人形3は逃げました。泣きながら。

足立の人形12はイトーヨーカドーに行っていました。

見つけて即持って帰りました。

そのあと頑張って全員連れて帰りました。

なんとか人形3を5体の人形で押さえました。なぜ泣いてたのかな。

まず、人間の形になれるんですね、こいつらはまったく。翌朝、また逃げました。ははは。どうしよう。こいつら。新聞も持って逃げてしまい。

ドラマを撮ったら延長して8回の表から撮れてました。楽天、勝ちました。

4時間後、人形のみんなが54万持って帰ってきました。スロットで稼いだみたいです。

全部使うそうです。あれ、オレの金を使っただろ。おい。毎日ポテチを5袋買ってます。

あいつら、たばこ好きなんじゃないすか？大好物がわからん。人形9がめちゃくちやいじめられました。

目、針に刺されました。同情してる途中です。

「うわあん！みんなが、みんなが、うえええええん！」

「落ち着け、とりあえずあいつらに理由を聞こう。な、それでいいよな。な、！」

で、理由を聞きました。

「こいつがオレをシカトしたんじゃあうえええええん」

あちゃー！泣いてました。

泣きました。みんな涙もろくてかわいいな。ふふふ。

わあ、なんか慣れた。

食費が1日1万はちときついが、まあ、いいや。ふふふ。

ははは、またたばこ食ってら。ははは。

そのころ、ニュースでUFOキャッチャーの中に喋る人形がいるゲーセンがあるという事件を報道している。

ははは、口からなんか出した。

## 人形的能力（前書き）

今回はちと短いです。

## 人形の能力

最近の人形たち、やけに変です。

たばこはポッキーのように食うし、お茶漬けを海外生まれにしているし、エジプト行ってくると言って金閣寺に行ったり、しかも周りにある池で泳いでました。そして、時々

「ラ」

と

「リ」

しか言わなくなったし、訳わかんなくなって泣きそうです。

次の日、

「ラ、タイタニックみに行く」

とか言つてバレーボールと納豆持つていこうとしました。

オレは必死に止めました。

それはそうでしょう。

タイタニックは6年ぐらいやってないし、納豆は臭いし、バレーボールが活躍する場面は1%もない。ポップコーンをこぼす。

あと、映画だけで50万も必要ない。

毎日ポテチ買ってるのによく余るものだ。

人形たちにタイタニックはもう映画館では見れないと言ったら、

「はあ！？じゃのび太の恐竜は？」

あれにはオレもへこみました。計算する気にもなりません。

こいつら、最近出来た人形なのに、映画は全然知りません。」

お前等、今はあずみ2とか香港国際警察とか人気なんだぞ」

「そつか！じゃそらみに行こう。ラ、リ。」

と、バレーボールと納豆持っていました。

あと50万。いや、だから、ね。

夜中になるとぐるぐるリビングを走ります。うざいです。

たまに盆踊りをしながら爆宙します。訳分かりません。

翌朝、オレは二ニュースを見てコーヒーを吐きました。

だって、あいつらの仲間、報道されてるもん。

「どうなったか見たい？桜田」

オレはびびりました。

後ろを向いたら人形23が鼻をほじくってタイムマシンらしいものを出しました。

「タイムマシン！」

「おつ、お前、ドラえもんみたいなことできるんだ！」

「みんなできるよー！」

ははは。お世話になってるんだから出せよな。それくらい。

しかもタイムマシンがきもい。ジャガイモ型です。

とりあえず乗ったら猫バスみたいにふかふか。

ふかふかなジャガイモ。うまそう。

出発！………三輪車より遅い！なんだこれ、ただいま2005年6月。

5時間後、着きました。ゲーセンが潰れてました。ははは。

帰ってみると、人形たちが泣いてました。

なぜかと言うと、人形15の針が取れたそうです。真面目に泣いてます。

オレはこの人形たちには大切なものがあると思います。仲間の幸せを喜べるから。

ある日、オレが仕事から帰ると、家が荒らされました。

泥棒か強盗です。

ついにオレにも来たか。  
なんか知らないおじちゃんがつろつろしてるかと思ったら、やっぱり。

オレはとりあえず人形5心配をしました。

はい。全然いません。誰もいません。多分あのおじちゃん、人形狙いだったのね。

オレは外に出て、人形たち探しに行きました。

はい。居ました。人間の形になっておじちゃんを殴りかかってます。おじちゃんがごくせん生徒のように見えます。ほら、いつも倒れて殴られてるじゃん。

なんか気がすんで人形が振り向いたらオレを見つけたらしく、走ってきます。人間の形のままで。

いや、せめて人形の形で、重いじゃん。

そんなこと人形の知ったこったじゃない。突進してきました。ぐはあ！痛いです。全身痣だらけです。

次の日、外科に行きました。あの痣ですからね。

もちろん、あいつらは連れていきません。

入りました。はい。居ました。人形人間。小さい子供に飴あげてます。怖いです。

「オレにも医者やらせろ！」

とか言ってます。

ははは。乱暴だね。人形人間は。

他人のふりしました。やでしょ、あいつらと関係してるとか言われたら。

「おーす！桜田！」

人形人間が言ったが、無視しました。他人のふりです。

あれ。人形人間が人形になりました！おおよ？大発見！

人形、キモがられています。

「おい！オレたちがキモいつてか！」

はい。そうです。

なんか。どっかに連れてかれました。しかも他人の車で。

「なんだよー！離せ！くそ！」

人形たちが車を運転しています。

なんかみんなで

「ララララララララララララララ」

と言ってこっちにきます。ぎゃあ！

## 豹変

なんかオレ、縛られてます。しかもきつくて手が紫に変色してます。

こいつら、悪霊がいるんじゃないかとオレは思う。

今もたばこは食ってます。悪霊がたばこが好きなのですかね。

「ろろろれるりりろろろれれ!!」

うわぁ！何語喋ってるのかしら。

「ろろれりりろろろりりろれらろ!!」

なんか訴えてるのはわかる。うん。オレでもそのくらいわかる。「らりるれらるるれれろれろれりれろれれ!!」

それにしても何喋ってるのかしら。ね。縛られて2時間たってます。

この時間になると、近所ではみそ汁のにおいがするな。はらへった。人形がオレの前に何か置きました。

たばこです。なんか食えというジェスチャーをしています。いや、食えるか。

人形がじつとオレを見てます。

また食えのジェスチャーをしています。食うまで離れないようです。

オレが食いたくないのジェスチャーをしたら、人形はしばらくオレを見て、なんかひらめいたかのように、手を叩きます。

その後、たばこを手にとってオレに食わせます。

いや、そんな問題じゃないし、ポテチ5袋買ってるんだからあるだろ、ポテチ。

オレは食ってたまるかと思い、口を堅く閉じてたら、鼻をほじくってなんか出しました。

ねこじゃらし。

ねこじゃらしをオレの脇の下にさわさわとこすりまわす。くすぐってえ！でも開けてたまるか！



あきらめて次出しました。つつか早っ！

シャーク・ティルの前売り券。

「おお！見たかったんだ！ありがとう」

はい。入れられました。たばこ。

気づかずに噛みました。茶色い葉っぱ、苦っ！！よく食えるな。

なんか人形たち、最高の笑顔になって舞って

ます。

100万ドルの笑顔でかわいいを通り越して気持ち悪いです。

「らり、らろ、らり」

とか言ってます。

舞ってなくていいから教えて下さい。なぜ、オレは縛られてるのですか？

たばこをもう一本出されました。手拍子してます。

アンコールなんでしょ、多分。

またなんか出しました。

ローレライのチケット。

食ってたまるか。

またなんか出しました。ぬおっ！これは！

踊る大捜査線のユースケ・サンタマリアが主役の映画！

見てえ！でもたばこは食われるし、結局チケットはもらえなか

ったし、もらわない方が。

でも、まだ2ヶ月もあるのにもうあるなんて、欲しい！すげー欲しい！

オレは悩んでいます。

決まりました。

「ども（早口）」

はい。入れられました。反射神経が最高にいいです。この熊。

手がもう紫を越してやばい色になってます。

「おい！なんで俺を縛る！？」

「らろ」

と熊は言つてほんにやくこんにやくみたいなのを出しました。  
持つてるんですね。ほんにやくこんにやく…。

とりあえずオレはそれを食つて、話を聞いた。

「まあ、聞いてくれや。オレたちには、悪霊が付いてる。桜田はそれに気付いてるはずさ。桜田はオレたちのせいで金がねーから、テレビに突き出すかと思つて…、ごめんなさい！！オレたちをテレビに突き出してくれ！！」

人形たちは拳を握りしめてました。

「まあ、もう慣れたし、いいよ」

「まじで！！？」

人間形態になりました。いや、なんで？

はい、突進。

めちやくちや痛いつすよ。もう。

とりあえず、帰りました。

## テレビ出演？その1

人形たちは今、すごくハマってるものがあります。

それは、教育番組。

見逃すと真面目に泣きます。

「オレたちも体操のお兄ちゃんと踊りてえ！！」

人形が何言ってるのでしょうか。

「無理に決まってるだろう！！おまえたちは人形だし、第一テレビ局はどこにあるのかわかるのか！！」

人形たちが最高の笑顔で爆宙をしています。なぜ爆宙が出来るのでしょうか。

また体操のお兄ちゃんが出てきました。

コンサートみたいに盛り上がってます。なんか、

「かけえ！！あんたかけえよ！！」

とか言ってます。

今思ったのですが、こいつら、今何歳なのでしょう？聞いてみました。

「オレの年齢は、ピリオドよりも年上だあい！！」

はい、何言ってるのかわかりません。ピリオドって何歳なのでしょう。

気がついたら、人形たち何かに応募してました。

「オレらも踊るんだああああ！！！！」

だから人形なんですってば！！もうあいつら何者なのでしょう。

だから何に応募してるんだろう。

葉書を覗いたら、人間形態になってクラッカーの穴にオレの鼻を入れて、発射しました。

オレの鼻からビラビラするやつが本ぐらいと、煙が出てきました。

四角いのは知りません。

もう一回覗いたら兄ちゃんとダンスを踊りてえとか書いてありました。年齢はピリオドより1歳上。

だからピリオドは何歳なんだよ!!

「うつしつ、んじゃ送るぜ」

うわぁ!! うしし笑いだ!! 人間になれる人形がうつしし笑い。怖いもんです。

人形11がポストに行きます。

人形11は人形の中で唯一タラちゃんの足音と同じなんです。

てか人形です!! 騒ぎます!! ドラえもんは歩いてても誰も驚きませんが、こいつは驚きます。

「大丈夫!! オレが出てくる!!」

「おう!! 悪いな!!」

人形たちはタメ語で対応してます。こっちはいわばご主人ですよね。

葉書を見たら宛先が書いてません。

「おい!! これは送り返してくるよ!! 出しても無駄!! だいたいこの葉書、オレがプラズマテレビの懸賞のために買ったのに何してんだよ!! もう!!」

オレは真面目にキレました。ちょっと気分がいい。

人形は鼻をほじくってなんか出しました。多分ケータイみたいなものです。

「もしもし、ダンスする人に応募します」

ええ!! これでいいの!? ええ!!

「よっしゃ!! 受かった!!」

オーデイションは!? マジかよ!?

「おまえ、雑用兼保護者な。東京いけるんだぜ!! いいだろ!!」  
いえ、ここは東京です。第一、人形に保護者は必要なのでしょうか。

まあとりあえず明日に備えて早く寝るか。

翌日、人形たちは午前2時ぐらいに起きていたそうです。

出発は9時なのに。隣町のスタジオなのに。

電車に乗ってオレはそのまま寝てました。

そして、オレが起きてみると人形たちがボロボロ涙を流してました。

「どうしたの」

とオレが聞くと、人形、とんでもない事を言っんです。

「今、埼玉に、いるの。埼玉、空気がきれいだよね」

ええ！！埼玉！？あちゃー！！どうすればいいのでしょうか。

とりあえず電車を降りて歩きました。

どこを行っても田んぼしかないな！！くそ！！

人形はハイキング気分で歩いてました。一番焦る必要があるのはこいつらなのに。

あれ、てかこいつら、ドラえもんと同じような能力持ってるんだよな。そういえば。

「おいっ、おまえら、ドラえもんと同じ能力があるんだからどこでもドアがだせるんじゃないか？」

「……」

人形、しらけました。やっぱり無理だな人形だもん。

「そうかあああああああ！！！！！！！！！！」

え

！？

人形ははしゃいでます。

忘れてたんでしょうね。ほんまばかだよ。関西弁になるぐらいバカだよ。

「ウインブルドン！！タケコプター！！」

え

！？道

具違いますよ！！ウインブルドンって何！？

しかも二個しかありません。

人形たち、鼻水垂らしながらどこでもドアを出しました。

開けて入ったら3歩前の所に着いて壊れました。人形たちは鼻水を垂らしました。

## テレビ出演？その2

どこでもドアが壊れてしまったため、おれらは歩いて東京へ。  
てか埼玉なのにこんなド田舎あるんだ。へえ…。

「見て！！ゲーセン！！」

はあ？何故こんな所にあるんだい。てかすげーうるさいし。

人形たちはギヤーギヤー言いながら、ゲーセンの中に入っていた。  
た。

俺も人形を追うようにゲーセンの中に入っていった。

人がたくさんいました。

うん。とにかくたくさんいました。太鼓の達人で列ができてました。  
「うっしやああああ！！遊ぶぜ、アルデンヌ」

そういつて、人形14はドラムのゲームをやり始めた。なんかメ  
ンバースカードを入れてた。

どこで手に入れたのかな？ふふふ……。

「よしっ！！いくぞお！！」

わざわざ大声出さなくていいのにと俺は思った。

てか今思ったけどおかしくないか？こんな田んぼと軽トラしか無  
い村に客が多いゲーセンがあると思うのか？

俺は狐につつまれたかのようにゲーセンを見渡した。

係員が…いない。

係員がいないゲーセンなんてとんでもなくおかしい。

動いてる人形を見て騒がないやつがいるか？

俺は怪しくなって人形たちを呼んだ。

だが、ドラムのゲームにすごく集中していた。てか…うますぎる。

「はあ、楽しかった」

人形たちと共にゲーセンへ出た。

拝啓、皆さん。このゲーセン、普通のゲーセンでした。

俺は泣きそうになりながらゲーセンを後にした。

「なあ、バスを待とうぜ」

俺はバス停を見つけ、指を差しながら言った。

「うつせー！！ボケ人間」

うわぁ…、人形に暴言された。すげーショック。

「じゃあさ、バス待とうぜ」

人形09がバス停を指指しながら言った。

だからさっき俺が言ったってーの。俺が思ったが、人形は

「行こうぜ」

と賛成した。

よい子のみんな。これをさべつというものなんだよ。よく覚えてね。

とりあえず俺達はバスを待つ事にした。

だが、一向に來なくて、全員イライラしはじめた。

「くそおお！！いつ来るんだよ！！？」

人形21がバス停にパンチをして、バス停にある看板みたいなのが倒れた。あーあ。

その時、人形21は気づいた。

「なあ…みんな……」

人形21が震えながら言った。

「どーした？人形12」

俺はバス停にある看板みたいなものの所まで走った。

「時刻表…」

人形21が指を震えさせながら時刻表を指したので、俺はそれを見た。

「…もう、バスが無い…」

そう、あの時ゲーセンで遊んでる間に最終バスが出発してしまったのだ。

「あーあ、おめえらのせいだ！！あーあ！！」

「うつせえよ、ライブドアクビになったくせに」

「うるせー、それもおめえらのせいだろうが！！」

「お前がUFOキャッチャーで俺たちを取ったからだろう」

「ジャンプしたんだろ！！ジャンプしたんだろ！！」

「ああああ！！！！もうおまえらとは絶交だ！！」

「てか俺は最初からそれを望んでましたあー」

「あつそ、あつそじゃあな」

人形達はそろそろと俺達から離れていった。

「バカらしい、家帰ろう」

俺は歩こうとしたが、道に迷ってたんだ。

「おいおでーら、何してるべか？」

前の畑で農業をしていた50代後半のおじさんが俺に話しかけた。

「駅を探してるんですが、知りませんか？」

「ああ、反対方向だあ。おらが連れでつか？」

「お願いします」

な、な、なんとこんな所に神様が、ありがたい。アーメン。

とりあえず俺はおじさんの軽トラに乗って駅まで送ってもらった。

「この村はなあ、野球が延長しないからビデオが録画しやすいんだ」

「そうなんですか」

みたいな会話をしていた。

駅に着いておじさんに軽くお礼を言っただけで俺は自分の部屋へと帰っていった。

久しぶりに我が家へ帰ってきた。

なんかリフォームされてもないのに部屋がいつもより広く見えた。

今ごろ人形達何してるんだろう。俺はそう思いながら貯まっていた

新聞とハガキを見た。

ハガキは群馬の実家からだった。

まあ前橋だから職には困らないから東京に行ったのは俺とギャル二人と巨人入団希望のやつだけだった。

ハガキの内容は俺の妹、有希が結婚式を上げるから来て欲しいらしい。



ついに妹に先を越されたか…。

俺は寝ころんだ。

明日帰るか。

俺はそう思いながら寝たのであった…。

翌朝、俺がテレビを付けたら、懐かしい教育番組がやってて、懐かしいなと思いながら見てた。

その後、俺はとてつもない光景を見ることに…。

「それじゃあ今日からみんなと遊ぶ仲間の紹介をします」

歌のお兄さんが話した後、それは映った。

「どーも、クマオ29です」

あいつらだ。

行けたんだ。

NHK。それにしてもNHKはやるな。普通、あんなの見せたら即マスコットキャラクターにするよ。

それにしてもクマオ29って…。リーブ21じゃないんだから…。はつきりいって一緒に歌ってる子供と人数あんま変わらないし…。俺は即テレビを消してすぐ準備をして田舎へと出発したのだった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0954a/>

---

生きてました

2010年10月15日20時45分発行